

## 【研究ノート 2】

### 平成10年土地基本調査結果の概要について

西 口 学

昨年12月、国土庁（現在の国土交通省）より平成10年土地基本調査の確報集計結果が公表された。本調査は、わが国における土地の所有及び利用の実態を明らかにすることを目的として実施されたものであり、①法人土地基本調査、②世帯に係る土地基本統計、③法人建物調査の3つの調査・統計から構成される。本稿では、本調査の結果の概要について紹介する。

#### 1 土地の所有状況の概要（法人及び世帯）

1) 土地を所有する法人は約63万法人（前回60万法人）で総法人数の33.7%（同34.6%）、土地を所有する世帯は約2,388万世帯（同2,326万世帯）で総世帯数の56.1%（同57.4%）となっている。

〔表1〕 法人及び世帯の土地所有率

土地の種類	平成10年		平成5年		変化率 ①/②	
	土地所有法人数 ・世帯数（千世帯）	所有率 （%）	土地所有法人数 ・世帯数（千世帯）	所有率 （%）		
法人	土地全体	630,760	33.7	603,950	34.6	104.4
	棚卸資産	53,140	2.8	48,460	2.8	109.7
	その他					
	農地	28,920	1.5	24,700	1.4	117.1
	山林	57,860	3.1	61,700	3.5	93.8
	宅地など・その他	590,860	31.6	558,280	32.0	105.8
	総法人数	1,870,420		1,744,060		107.2
世帯	土地全体	23,881	56.1	23,260	57.4	102.7
	現住居の敷地	22,867	53.7	21,816	53.8	104.8
	現住居の敷地以外	8,128	19.1	9,493	23.4	85.6
	農地	4,796	11.3	5,276	13.0	90.9
	山林	2,816	6.6	2,987	7.4	94.3
	宅地など	3,932	9.2	5,121	12.6	76.8
	総世帯数	42,576		40,530		105.0

2) 面積では、法人が22,223 km<sup>2</sup>（同21,743 km<sup>2</sup>）、世帯が113,757 km<sup>2</sup>（同112,454 km<sup>2</sup>）を所有している。これを国土面積に対する割合で見ると、法人が5.9%、世帯が30.5%となっている。

〔表2〕 法人及び世帯の所有する土地の総面積

土地の種類	平成10年		平成5年		変化率 ①/②	
	所有土地面積 （千m <sup>2</sup> ）①	構成率 （%）	所有土地面積 （千m <sup>2</sup> ）②	構成率 （%）		
法人	土地全体	22,223,346	100.0	21,742,760	100.0	102.2
	棚卸資産	1,810,405	8.1	2,107,584	9.7	85.9
	その他	20,412,942	91.9	19,635,176	90.3	104.0
	農地	994,185	4.5	994,182	4.6	100.0
	山林	10,514,022	47.3	10,187,288	46.9	103.2
	宅地など・その他	8,904,734	40.1	8,453,706	38.9	105.3
世帯	土地全体	113,757,072	100.0	112,454,133	100.0	101.2
	現住居の敷地	6,527,692	5.7	6,470,314	5.8	100.9
	現住居の敷地以外	107,229,380	94.3	105,983,819	94.2	101.2
	農地	39,874,700	35.1	39,770,959	35.4	100.3
	山林	64,346,262	56.6	62,838,915	55.9	102.4
	宅地など	3,008,418	2.6	3,373,945	3.0	89.2























